



お元気ですか!

志村 たかよし です

第632号 2013年3月10日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

第一回定例会一般質問

平和・区民生活・中小企業・築地市場・いじめ・体罰問題など質問



一般質問に立つ私（志村）=2/28

2月27日から3月28日までの日程で区議会第1回定例会が始まり、28日の一般質問には、日本共産党区議団を代表して、私（志村）がたちました。

今回の定例会は、昨年末の第二次安倍政権成立後初めて開く議会であり、区が今後10年間の区政運営を示した「基本計画2013」を発表した直後でもあります。

また、中央区政史上はじめて議場に国旗と区議が掲示された中での議会でもあります。その一般質問のトッパッターに私がちました。

戦時中に「日の丸」が果たした役割に区長は触れず

私の一番目の質問は「議場における『日の丸』掲揚について」でした。

私は、最初に、本定例会から議場に国旗が掲示されたが、実施を決める議会運営のプロセスが、審議を途中で打ち切るという議会制民主主義

質問事項

- 1、議場における「日の丸」掲揚について
- 2、安倍自公政権のTPP、改憲、原発推進、経済政策について
- 3、区長所信表明と子育て支援、中小企業支援について
- 4、国民健康保険料の値上げについて
- 5、「築地新市場」計画と豊洲新市場計画について
- 6、いじめ・体罰問題について

を踏みにじることだったとことを報告しました。

そして、「日の丸」の歴史（裏面参照）を紹介し、区長に対し、戦中において「日の丸」が果たした役割と、区民や国民の中で「日の丸」にたいして批判的な意見があることへの認識について質問しました。

区長は「『日の丸』については、様々な意見があるかと思うが、国旗として認められてきた」「日本国民の自覚や誇りの証として重要な役割を果たすもの」という認識を示しましたが、戦争中における「日の丸」が果たした役割への認識を語りませんでした。

再質問で、戦争中に「日の丸」が果たした役割についての認識を再度問いましたが、区長は「そうは思わない」と答え、侵略戦争と戦意高揚の役割を果たした「日の丸」の歴史の事実を認めませんでした。

（今週号は字ばかりでごめんなさい）

「日の丸」の歴史について（質問から構成）

「日の丸」の歴史の受け止めは
思想・良心に関わる問題

「国旗・国歌法」は、1999年8月に、自民、自由、公明などによって強行成立されたものですが、その年の6月のNHKの世論調査では、法制化に賛成が47%、反対が48%、7月の毎日新聞の調査では、賛成が36%、反対が57%と国民意識は二分していました。

「日の丸」の問題は、国民一人一人が、「日の丸」の歴史をどう受け止めるのかという思想・良心に直接関わる問題を含んでいます。

日本では支配のシンボルだった

「日の丸」は、太陽をデザインしたものです。

専門家（山田敬男氏「歴史の中の『日の丸・君が代』」）による

と、太陽は、世界中の民族から神話や信仰の対象とされてきました。日本では、中世の武士、戦国時代の大名、徳川幕府など各時代の権力者たちが支配のシンボルとして使ってきたものだといえます。

その「日の丸」が「国のしるし」を表すようになるのは、1853年のペリー来航以降のことで、薩摩藩が国籍を示す船の印に「日の丸」の使用を幕府に認めさせてからといわれています。1870年、明治新政府は「日の丸」を日本の商船、軍艦の船印にしました。

学校の儀式を通じて国民に徹底

庶民にとって「日の丸」も「君が代」もなじみが薄かったものが、国旗や国歌のように扱われていった節目は、1889年の大日本帝国憲法の発布と1890年の教育

勅語でした。

政府は、学校での儀式を通じて「日の丸」と「君が代」を国民の中に浸透させていったのです。

侵略戦争のシンボル

戦意高揚の道具

1931年に日本軍が起こした柳条湖事件いわゆる満州事変から始まる「15年戦争」で、日本軍は、「日の丸」をなびかせながら中国や東アジアを侵略し、その先頭には常に「日の丸」が掲げられていました。まさに、日本の侵略戦争のシンボルが「日の丸」でした。

また、国内でも、出征兵士を送る場面では「日の丸」の旗が打ち振られ、日中戦争で南京など主要都市を攻略すると「日の丸」や提灯で戦勝を祝いました。そして、東アジアの地図には占領地に「日の丸」が書き入れられました。「日の丸」は戦意高揚の道具とし

て大きな意味を持っていたのです。

独・伊は変えても日本は変えず

アジア太平洋戦争において、大切な家族・親戚の方を失わなかった家は、ほとんどなかったでしょう。多くの国民がもう二度と戦争をしてはいけなく、あのとときのつらさを味わいたくないと思っただけでしょう。ですから、戦争の悲惨さを思い出すので「日の丸」を見るのもつらいと言う方も少なくないのです。

第2次世界大戦で、日本とともにファシズムの国であったドイツとイタリアは、戦前使用していた旗を、戦後変えています。

日本だけが、侵略戦争と戦意高揚のシンボルであった「日の丸」を戦後も使用することにたいして反対の声が上がるのも当然のことではないでしょうか。

…(略)…

「意見」「要望など、お気軽に」連絡ください(marumo@proo.jp)